

## Question



脊柱側彎症の撮像はどのようにすればよいのだろうか？

## Answer



側彎した脊椎の矢状面は、各脊椎に平行になるように、2回に分けて撮像すると脊椎と脊髄の状態がわかりやすくなります(図2)。また、脊髄に対する斜冠状面のT2強調画像を追加撮像すると脊髄全体の把握が容易となります。そのほかに、3D撮像を行いcurved MPRにより、脊髄に沿って矢状面を描出する方法があります。この方法は、脊髄に沿った矢状面を得ることができますが、3D撮像が時間を要することと、画像処理の手間が加わります。



側彎における矢状面の設定



胸椎部の矢状面T2強調画像



胸腰椎部の矢状面T2強調画像

図2 脊柱側彎症における矢状面の設定

2回に分割することで、脊髄に平行した矢状面が得られる。